



日本ミクニヤ株式会社

ミシマックス (MK-50)

減容化
90%以上



処理前の
木材チップ

処理後の
菌体肥料



減容化装置

製品・技術の概要

有機性廃棄物をオンサイトで90%以上減容化することができる装置。

LCCO₂削減効果

下水汚泥の一般的な処理方法と比較して、約9%のCO₂排出量を削減。

原材料調達 生産 流通・販売 使用・維持管理 廃棄・リサイクル

※下水汚泥の処理方法が比較対象間で大きく異なるため、段階毎の比較は無し

杉チップと常在菌で下水汚泥の大幅な減容化を実現



執行役員 支店長
徳岡 誠人 氏

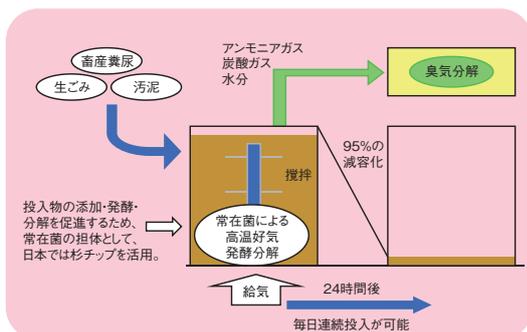


環境防災部
グループリーダー
田中 優司 氏

製品の概要

現在多くの地域で、下水処理場から出る汚泥の処理に困っていますが、それを微生物の力で発酵し、その熱を有効利用して蒸発と発酵の相乗効果で減容化できる装置がミシマックスです。汚泥を運搬することなく、オンサイトで処理できますので、下水汚泥の一般的な処理方法と比較して約9%のCO₂排出量を削減します。ミシマックスでは、さらに半年間、装置の中で減容化し続けますので、汚泥に含まれる多くの窒素やリンが濃縮されます。これを分析し、安全性を担保したうえで肥料登録も行き、菌体肥料として農地還元しています。

一般的なコンポストでは、特殊な菌を使用して減容化する場合が多いですが、ミシマックスでは杉チップに空气中の微生物を培養し、減容化している点が特徴です。



今後の展開について

中東やインドネシア、ベトナムなど海外からの引き合いがあります。しかし、チップとなる杉は、日本の固有種となるため、海外では入手が困難です。現地で購入しやすい木材で、杉の代替材となるものは何があるのか、また、空气中の微生物を使用していますので、本当に日本と同じように減容化できるかという課題について、現地で実証実験を進めています。

低CO₂川崎ブランドへ応募した理由

川崎市を地元とする企業として、このような企画に参加できることは、非常に良いことだと思い、チャレンジしてみました。

CO₂削減に向けた取り組み

当社は、事業として環境コンサルタントを行なっております。環境省主導のチャレンジ25やソーラー、水力、風力などの再生可能エネルギーに関するコンサルティングをしています。

将来目指していること

現在、発酵槽の中を、遠隔地でモニタリングできるシステムを開発中です。人の移動を減らすことにより、距離に関係なく展開できることを目指しています。また、資源循環社会を具現化する自治体や民間企業が、ミシマックスを取り入れることで、CO₂削減に貢献できると思います。

事業内容

ミシマックスの技術開発、営業企画の実施。海外製造拠点の構築等

お問合せ先

日本ミクニヤ株式会社

〒213-0001 川崎市高津区溝口3-25-10

TEL 044-577-3928

FAX 044-822-1689

<http://www.mikuniya.jp/>

